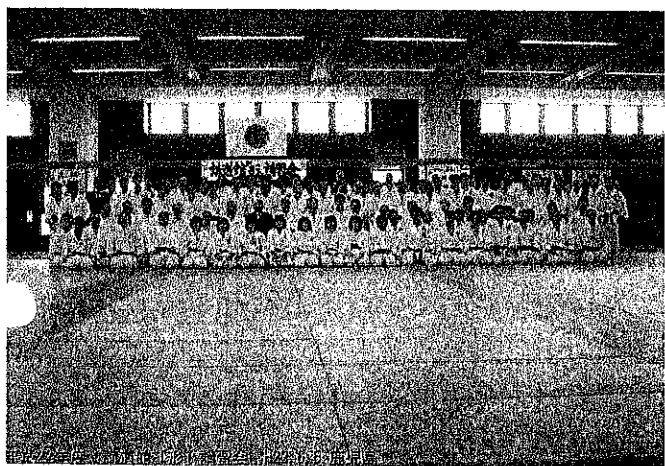


鹿児島県柔道会だより

■発行人/北 哲郎 ■編集/総務部編集委員会 ■発行/財団法人鹿児島県柔道会 (電話 099-222-7770)

講道館「形」講習会

6月5日(土)・鹿児島アリーナ武道場



講道館「形」講習会受講者

初夏の風のさわやかな6月5日(土), 鹿児島アリーナ武道場で平成22年度講道館「形」講習会が開催されました。

宮崎県が口蹄疫の影響で参加できませんでしたが, 熊本県と鹿児島県から122名が受講しました。

9時30分に開講式があり, 北哲郎鹿児島県柔道会会長から「本日は, 熊本県と鹿児島県の各支部, 職域, 一般, 鹿屋体育大学等, 大勢参加頂き感謝しています。→名の形のトップレベルの先生方をお迎えして研修できることは大変嬉しいことです。本日の講習会で正しい形を修得して, その成果をそれぞれの所属で伝達して頂きたい。」との激励の挨拶がありました。

講師の紹介の後, 講師を代表して松下三郎先生は「高校3年間柔道に打ち込んだ郷里鹿児島での形講習会に参加できて大変嬉しい」と話された後, 海外での形の普及状況, 世界形選手権の模様, それに今後の形の修行の在り方等, 興味深いお話がありました。

開講式の後, 準備運動, 立礼・坐礼の仕方, 入退場の仕方, 所作, 服装等について細かく指導を頂きました。この後, 形ごとに分かれ, 講師の熱心な指導に受講生は終始真剣に取り組んでいました。

形と講師

「極の形」: 31名

松下三郎 九段 講道館道場参与

「古式の形」: 16名

福島美智雄 八段 講道館指導員

「柔の形」: 37名

尾形敬史 八段 茨城大学教授・講道館参与

「投の形」: 38名

向井幹博 六段 講道館道場指導部課長

各会場での講習が終わり, 全員が集合し, それぞれの形の成果を一組ずつ演技してもらい, 講師の先生方から講評を頂きました。

閉校式では, 講師を代表して福島先生から「熱心な受講態度に感謝します。正しい形を覚えるには, 反復練習することが大切です。バランスよい身体と技を作るためにも形の反復練習を心掛けてください。継続してください」との講評がありました。

受講生を代表して, 南昌治 6段(日置支部)は, 「平素, 形は大事だから練習するよう指導を受けてきましたが, 乱取りが中心となり, 形の方が疎かになっておりました。本日は, 形の意義や歴史等を学び, 形についての理解が更に深まりました。」と力強くお礼のことばを述べました。



礼法の練習風景

松下先生の講話にもありましたが、嘉納治五郎師範が「柔道の形というものは、恰も文章における文法の如きもので、乱取りは作文の練習の如きものである。即ち文章を書くときに、文法の知識を必要とするが如く、乱取りにも亦形を必要とする。如何に文法に精通したとて、直ちに名文が書けないと共に、又文法を知らずにむやみに文章を書いても正しき文章は出来がたい・・・」と述べておられますが、受講生たちは今回の講習会で「形」に対する意義と重要性を再認識することが出来たと思います。

本県では、少年大会や中学・高校大会、県選手権大会等で指導者や選手たちに演技してもらい、形の普及に努めていますが、今後は、柔道修行者全てが形の重要性を認識し、技術向上に取り組む方策を検討したいと思えます。

受講生の感想文に、形の選手権に挑戦したくなったとの意見が数件見られました。



「極の形」を指導する松下三郎九段
(財団法人鹿児島県柔道会副会長 豊永強)
講道館発行月刊誌「柔道」8月号より転載

※ 講習会后、講師の先生方を囲んでの懇親会を
アクアガーデンホテル福丸で開催盛況でした。

全日本「形」競技大会 講道館

「投の形」 山野修四段(加治木中学校教諭)
西有生央四段(金久中学校教諭)

※ 10月31日の全日本「形」競技大会に、本県から
上記2名が出場します。ご声援ください。

柔道ルネッサンス

「柔道をしていること、させていることに誇りを持ち
立派な態度で試合や応援をしましょう」

○ 会場の使い方

大会会場は公共の施設です。大切に使いましょう。

「来たときより美しく」

- ・履物、傘、所持品は、自分でしっかり管理しましょう。
また、忘れ物のないようにしましょう。
- ・トイレは清潔に使い、トイレのスリッパはきちんとそろえましょう。
- ・大会会場での飲食は慎みましょう。
- ・開会式・閉会式でのおしゃべりは慎みましょう。
- ・弁当殻などのゴミは、自宅まで持ち帰りましょう。ゴミや汚い状況を見つけたら、進んできれいにしましょう。

○ 試合

選手は立派な態度で試合に臨みましょう。

「礼儀は僕らの得意技」

- ・試合での礼法を正しくおこないましょう。
- ・正しく組んで、一本とる柔道を目指しましょう。
- ・試合に勝ったときなど、ガッツポーズなどの行為はやめましょう。
- ・監督は、審判員に準じた服装で大会に参加しましょう。

○ 応援

応援マナーを守り、気持ちのよい会場にしましょう。

「柔道はマナーで一本」

- ・決められた場所で応援しましょう。応援場所はお互い譲り合い、気持ちよく応援しましょう。
- ・素晴らしい試合・技・態度などには、敵味方を問わず、惜しみない拍手を送りましょう。
- ・審判や相手選手に野次や罵声等を浴びせることのないようにしましょう。

財団法人 鹿児島県柔道会
柔道ルネッサンス委員会

本県柔道会では、少年大会での「鹿児島柔道ルネッサンス宣言」や各種大会での田邊侑ルネッサンス委員長による「ルネッサンススピーチ」等を実施していますが、その地道な活動が認められて、6月16日付けで、講道館長・全日本柔道連盟会長上村春樹先生から表彰状を頂いた。表彰状は、柔道会館会議室に掲額してあります。

《大会報告》

県ジュニア体重別選手権大会(九州予選)

6月12日・鹿児島アリーナ

《男子》

◇ 55kg級

- 1位 加藤 駿 (明桜館高校)
2位 中屋 和貴 (鹿児島商業高校)

◇ 60kg級

- 1位 前田 力丸 (鹿児島実業高校)
2位 鞘脇 健太 (れいめい高校)

◇ 66kg級

- 1位 伊藤 淳介 (鹿屋体育大学)
2位 豎山 将 (鹿児島情報高校)

◇ 73kg級

- 1位 金子 龍太郎 (鹿屋体育大学)
2位 茅野 圭祐 (鹿児島商業高校)

◇ 81kg

- 1位 林 優輔 (鹿屋体育大学)
2位 佐藤 雄太 (鹿屋体育大学)

◇ 90kg級

- 1位 山平 隆太 (甲陵高等学校)
2位 矢櫃 晃生 (鹿児島情報高校)

◇ 100kg級

- 1位 松本 三津夫 (鹿屋体育大学)
2位 菱刈 風輝 (れいめい高校)

◇ 100kg超級

- 1位 増子 雄太 (鹿屋体育大学)
2位 秋山 湧希 (鹿児島情報高校)

《女子》

◆ 44kg級

- 1位 豎山 優 (鹿屋体育大学)
2位 田中美佳 (帖佐中学校)

◆ 52kg級

- 1位 児玉 千春 (鹿児島南高校)
2位 向田 利菜 (鹿児島高校)

◆ 57kg級

- 1位 富濱 綾香 (鹿屋体育大学)
2位 新村 夏美 (鹿児島南高校)

◆ 63kg級

- 1位 岡村 舞子 (鹿児島水産高校)
2位 榎谷 有里 (鹿児島南高校)

◆ 70kg級

- 1位 古賀 ちなつ (鹿屋体育大学)
2位 高山 莉加 (鹿児島南高校)

◆ 78kg級

- 1位 吉時 恵 (鹿児島南高校)
2位 坂元 嘉乃 (奄美高校)

◆ 78kg超級

- 1位 稲森 奈美 (鹿児島南高校)
2位 石橋 貴穂 (鹿屋体育大学)

※各階級上位男子2名、女子2名は県代表として九州ジュニア体重別選手権に出場。

—九州ジュニア体重別選手権—

豎山(44キロ)・稲森(78キロ超)が優勝

7月4日(土)福岡武道館

【女子】

◆44kg級 豎山 優 勢 松尾
(鹿屋体大) (福岡・大刀洗中)

◆78kg超級 稲森 上四方 固 森
(鹿児島南高) (熊本・鎮西高)

【男子】

▽73kg級 長 浜 優 勢 金子
(福岡大) (鹿屋体大)

▽90kg級 樋口 内 股 山平
(大分・柳ヶ浦高) (甲陵高)

▽100kg級 永田 弘 腰 松本
(熊本・鎮西高) (鹿屋体大)

男子は金子・山平・松本が準優勝し全日本ジュニアへの出場権を獲得した。

—全日本ジュニア体重別選手権—

豎山(女子44kg級)が3位入賞

9月18日(土)・19日(日)

ジュニア体重別女子44kg級で県・九州を制覇した豎山優(鹿屋体育大学)は、埼玉県立体育館での全国大会に於いて敗者復活戦から勝ち上がり見事3位入賞を果たした。

◇ 県下中学校柔道大会

— 6月13日(日) 鹿児島アリーナ武道場 —
 団体・男子末吉中 女子・伊敷中が優勝
 個人は保池(男)・辰島(女)がアベック優勝

〔男子団体試合〕

- 1位 末吉中学校
- 2位 伊敷中学校
- 3位 帖佐中学校
- 3位 中種子中学校

〔女子団体試合〕

- 1位 伊敷中学校
- 2位 鹿屋東中学校
- 3位 川辺中学校
- 3位 山川中学校

〔男子個人試合〕

- 1位 保池玄太(田検中学校)
- 2位 河野優稀(重富中学校)

〔女子個人試合〕

- 1位 辰島千夏(田検中学校)
- 2位 湯之上歩惟(山川中学校)

◇ 県中学校総合体育大会柔道競技

— 7月26日(月)・27日(火) 鹿児島アリーナ —

〔男子団体試合〕

- 1位 末吉中学校
- 2位 帖佐中学校
- 3位 伊敷中学校
- 4位 田検中学校

〔女子団体試合〕

- 1位 鹿屋東中学校
- 2位 伊敷中学校
- 3位 舞鶴中学校
- 4位 山川中学校

〔男子個人試合〕

◇ 50 kg 級

- 1位 宮園 哲(第一鹿屋中学校)
- 2位 内村光暉(鹿屋東中学校)

◇ 55 kg 級

- 1位 宮 一輝(宮之城中学校)
- 2位 鳥原羽恭(枕崎中学校)

◇ 60 kg 級

- 1位 向井彬晃(伊敷中学校)
- 2位 大窪誠聖(末吉中学校)

◇ 66 kg 級

- 1位 富永健斗(末吉中学校)
- 2位 保池玄大(田検中学校)

◇ 73 kg 級

- 1位 木下新悟(谷山中学校)
- 2位 早水湧一朗(出水中学校)

◇ 81 kg 級

- 1位 烏帽子義孝(種子島中学校)
- 2位 徳田力也(隼人中学校)

◇ 90 kg 級

- 1位 湯山貴大(伊敷中学校)
- 2位 上之園力哉(舞鶴中学校)

◇ 90 kg 超級

- 1位 上野公大(阿久根中学校)
- 2位 前川将悟(田検中学校)

〔女子個人試合〕

◆ 44 kg 級

- 1位 田中美佳(帖佐中学校)
- 2位 前田千島(財部中学校)

◆ 48 kg 級

- 1位 幸田奈々(末吉中学校)
- 2位 奥菌聖奈(東市来中学校)

◆ 52 kg 級

- 1位 永田あいり(伊敷中学校)
- 2位 園田奈緒(立神中学校)

◆ 57 kg 級

- 1位 永田ひかり(伊敷中学校)
- 2位 松尾 巴(財部中学校)

◆ 63 kg 級

- 1位 湯之上歩惟(山川中学校)
- 2位 青柳麗美(舞鶴中学校)

◆ 70 kg 級

- 1位 青柳美季(舞鶴中学校)
- 2位 木佐貫千夏(鹿屋東中学校)

◆ 70 kg 超級

- 1位 鬼塚葉瑠奈(伊敷中学校)
- 2位 福崎 舞(鹿屋東中学校)

鹿児島県高校総体柔道競技

5月26日(水)・27日(木)鹿児島アリーナ

[男子団体試合]

- 1位 甲陵・明桜館高等学校
- 2位 鹿児島情報高等学校
- 3位 鹿児島工業高等学校
- 4位 れいめい高等学校

[女子団体試合]

- 1位 鹿児島南高等学校
- 2位 鳳凰高等学校
- 3位 種子島中央高等学校
- 4位 出水中央高等学校

[男子個人試合]

- ◇ 60 kg 級
 - 1位 鞘脇 健太(れいめい高校)
 - 2位 前田 力丸(鹿児島実業高校)
 - ◇ 66 kg 級
 - 1位 豎山 将(鹿児島情報高校)
 - 2位 増田 雅矢(れいめい高校)
 - ◇ 73 kg 級
 - 1位 茅野 圭祐(鹿児島商業高校)
 - 2位 中釜 貴文(鹿児島商業高校)
 - ◇ 81 kg 級
 - 1位 児玉 桂一(鹿児島水産高校)
 - 2位 上中別府 健(甲陵高校)
 - ◇ 90 kg 級
 - 1位 矢櫃 晃生(鹿児島情報高校)
 - 2位 小林 啓太(鹿児島工業高校)
 - ◇ 100 kg 級
 - 1位 山平 隆太(甲陵高校)
 - 2位 若松 秀平(鹿児島情報高校)
 - ◇ 100 kg 超級
 - 1位 秋山 湧希(鹿児島情報高校)
 - 2位 溝口 恵祐(鹿児島工業高校)
- [女子個人試合]
- ◆ 48 kg 級
 - 1位 児玉 千春(鹿児島南高校)
 - 2位 福山 さくら(鹿児島南高校)

- ◆ 52 kg 級
 - 1位 西村 和華子(鹿児島南高校)
 - 2位 烏帽子 美咲(鳳凰高校)
- ◆ 57 kg 級
 - 1位 新村 夏美(鹿児島南高校)
 - 2位 神村 もも(鹿児島南高校)
- ◆ 63 kg 級
 - 1位 榎谷 有里(鹿児島南高校)
 - 2位 松原 美穂(種子島中央高校)
- ◆ 70 kg 級
 - 1位 高山 莉加(鹿児島南高校)
 - 2位 蔵 菌めぐみ(鹿児島南高校)
- ◆ 78 kg 級
 - 1位 吉時 恵(鹿児島南高校)
 - 2位 坂元 嘉乃(奄美高校)
- ◆ 78 kg 超級
 - 1位 稲森 奈見(鹿児島南高校)
 - 2位 吉永 美芙由(鹿児島城西高校)

九州高校総体

6月19日(土)・20(日)鹿児島アリーナ

[男子団体予選リーグ2]

- 2位 鹿児島情報高校 2勝1敗

[男子団体予選リーグ4]

- 2位 甲陵・明桜館高校 2勝1敗

[女子団体予選リーグ2]

- 2位 鹿児島南高校 2勝1敗

[女子団体予選リーグ3]

- 4位 鳳凰高校 0勝3敗

[男子個人試合]

- ◇ 66 kg 級 2位 豎山 将(鹿情報)
- ◇ 73 kg 級 2位 茅野 圭祐(鹿商高)
- ◇ 90 kg 級 2位 矢櫃 晃生(鹿情報)

全国高校総体(沖縄) 8月8日~12日

- ◇ 男子60 kg 級 5位 鞘脇 健太(れいめい)
- ◇ 男子66 kg 級 5位 豎山 将(鹿情報)
- ◇ 男子100 kg 級 5位 山平 隆太(甲陵)
- ◆ 女子52 kg 級 5位 西村和華子(鹿南)
- ◆ 女子78 kg 超級 5位 稲盛 奈見(鹿南)

第5回県下小学生学年別柔道大会

6月26日:鹿児島アリーナ武道場

〔男子4年生〕

- ◇ 40kg級 1位 内村秀資(光武館)
2位 柞木速斗(かわなべ)
- ◇ 40kg超級 1位 実 鍊真(瀬戸内)
2位 平山凌多(米倉柔道館)

〔男子5年生〕

- ◇ 45kg級 1位 吉牟田悠斗(青雲)
2位 蜂須賀 学(光武館)
- ◇ 45kg超級 1位 吉村太一(光武館)
2位 吉野弘人(野田)

〔男子6年生〕

- ◇ 50kg級 1位 安達乃真(光武館)
2位 田中秀伍(かわなべ)
- ◇ 50kg超級 1位 宮ヶ原康平(光武館)
2位 大久保魁皇(かわなべ)

〔女子4年生〕

- ◆ 35kg級 1位 西 李香(串木野)
2位 新村夢羽(山川)
- ◆ 35kg超級 1位 今村美友(柔心館)
2位 上釜 さくら(枕崎)

〔女子5年生〕

- ◆ 40kg級 1位 有野美優(青雲)
2位 清水美穂(清原)
- ◆ 40kg超級 1位 上林山未来(光武館)
2位 山下朋華(立神)

〔女子6年生〕

- ◆ 45kg級 1位 長谷川 楓(青雲)
2位 瀧川琳花(正道館)
- ◆ 45kg超級 1位 古市真愛(西之表黒潮)
2位 八郷 瑛美里(米倉柔道館)

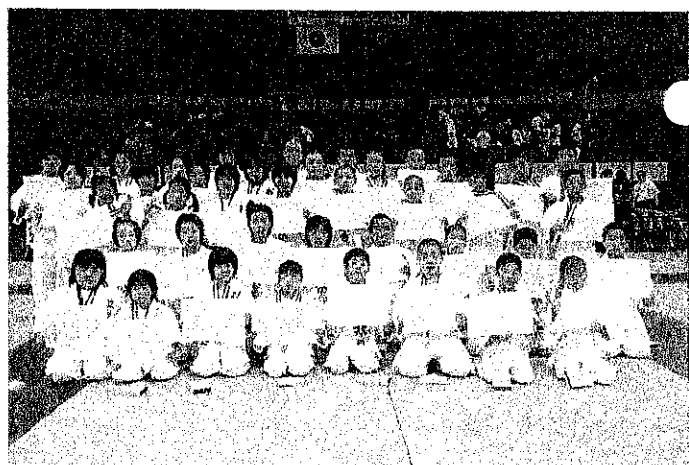
本大会で優勝した5年生男女4名、6年生男女4名の計8名は、8月22日に札幌市で開催された、第7回全日本小学生学年別柔道大会に出場し、5年生女子40kg超級で光武館の上林山未来選手が見事全国優勝を果たした。南日本新聞でも大きく報道された。

第26回鹿児島県少年柔道学年別錬成大会

社団法人 鹿児島県柔道整復師会 主催

7月21日:鹿児島アリーナ

- ◇ 6年男子 1位 湯又晃生(青雲)
2位 宮ヶ原康平(光武館)
- ◇ 5年男子 1位 吉村太一(光武館)
2位 上原大平(かわなべ)
- ◇ 4年男子 1位 柞木速斗(かわなべ)
2位 武田祐典(かわなべ)
- ◇ 3年男子 1位 井上力哉(柔心館)
2位 山元隆一(川内柔心館)
- ◇ 2年男子 1位 竹下蒼汰(青雲)
2位 小島大尚(三笠)
- ◆ 6年女子 1位 古市真愛(黒潮柔友会)
2位 瀧川琳花(正道館)
- ◆ 5年女子 1位 山下朋華(立神)
2位 有野美優(青雲)
- ◆ 4年女子 1位 西 李香(串木野)
2位 有馬さくら(加世田)
- ◆ 3年女子 1位 中馬梨歩(米倉柔道館)
2位 三崎茉莉(米倉柔道館)
- ◆ 2年女子 1位 羽生季京(立神)
2位 下田真央(山川武道館)



(錬成大会における各学年3位以上入賞者)

少年男子本国体出場権獲得

国体第26回九州ブロック柔道競技大会は、8月22日鹿児島アリーナで成年女子・少年男子・女子の部が行なわれ少年男子が本国体への出場権を獲得した。

「宇検柔道スポーツ少年団」

の歩みと現況 富山 政美

宇検柔道スポーツ少年団として20余年、子供達の指導に携わってきております。

現在、子供達は小学生9名、中学生8名の計17名で同道場にて週3回(月・水・金)2時間の練習に汗を流しています。

とにかく、小学生低学年から中学生まで一緒に練習ですので、一番に怪我をさせない、事故を起さないという点に神経を使っております。また、これは宇検柔道スポーツ少年団、田検中学校柔道部にとっても、ギリギリのメンバーでの試合出場となるうえで団体戦を組めるかという大きな問題にもなりかねません。

奄美大島の子供達は本島と離島(喜界島、徳之島、沖永良部島、与論島)という地形上なかなか交流もままならず、県本土に比べるとお互いの合同練習は勿論のこと、試合数も比べ物にならないほど少なく、子供達にとっては経験という意味では本当に可哀想な思いをさせているのが現状です。

また、県大会出場となると11時間の船旅で移動日間で3日間が必要となり、離島となるとさらに時間も費用もかかってしまいます。台風の時期は影響も受けやすく、仕方なく試合出場を断念して子供達が涙したことも幾度かありました。

こうした環境を乗り越えて、子供達はさらに柔道に対する強い志(こころざし)をもって、県本土に負けない位の根性を養ってきたかと思えます。

これまでも県大会において、小学生が団体優勝を2回、個人戦も錬成大会で2名が優勝を果たし、中学生も団体戦準優勝を果たしてきました。最近でも6月の県下中学校大会において、個人戦無差別級で男女ペア優勝を成し、7月の県中学校総合体育大会柔道競技でも66キログラム級と90キログラム超級の2名が九州大会出場を果たし、団体戦も決勝リーグまで上がることができました。これは、わが道場はもちろんのこと、奄美の子供達にとっても大きな励みになってくれたものと嬉しく思います。

近年、少子化に加えてスポーツ界も派手な球技等が

盛んになり、私たちにとってはさびしい現状となりました。

部員も少なくなり、学年0人の年もあり、これから小さな道場は益々厳しくなっています。

これからの子供達に希望することは、「心・技・体」を鍛えるスポーツの中でも柔道は「礼に始まり礼に終わる」という、日本人に大切な礼儀を重んずる素晴らしいスポーツであり、是非経験してもらいたいものです。

奄美大島の方へも、昨年度あたりから柔道関係の先生方が各中学校へ転勤して来られ、私たち指導者にとっても大変心強く、嬉しく思うところです。

これからは是非、諸先生方のご指導を頂きながら、地域の関係者や保護者の協力のもと、更なる子供達の育成に貢献できるよう精進していきたいと思えます。



(宇検スポーツ少年団の練習風景)

新 県体スタート

第64回県民体育大会柔道競技は、9月18日(土)鹿児島アリーナ武道場で開催された。

今年から地方持ち回り開催が中止され鹿児島市を中心とし、地区割りも例年の12から9へと変更されたが、柔道は例年どおり12支部によるリンク・トーナメント戦を実施し熱戦を展開、始良チームが決勝で日置チームを下し7年振りに優勝した。成績は以下のとおり。

▽予選リンク 始良3-2鹿児島、鹿児島3-1大島、大島3-2枕崎、出水3-2枕崎、曾於3-2出水、肝属4-1曾於、日置3-2肝属、日置5-0伊佐、川薩3-1伊佐、熊毛(代表)1-1川薩、熊毛3-2指宿、始良3-2指宿

▽決勝トーナメント1回戦 始良3-0熊毛

▽決勝 始良3-1日置

懐かしい記事

「ゆく年くる年」 林 岩 三

(全柔連理事, 鹿児島県柔道会会長, 九段)

険しい内外の政情, 列島を洗う不況の波, 桜島の降灰容赦なき鹿児島の街—これら昭和53年の暗影を払拭してなお余りある快事が, 「嘉納治五郎杯国際柔道大会」であったと思います。無事開催の運びとなり, 名実ともにあのような盛況を見たことは, 日本柔道にとっての大きな喜びであります。さらには, 日本選手が柔道の真髄を内外に示すべく力戦したことを多としたいと思います。

さて, 新しい年昭和54年は, 嘉納杯に続く1年として, すでに新時代の曙光が, ほの見えていられると思われまします。私も鹿児島の地で柔道振興のため, 指導者の錬成と少年柔道の充実を中心に倍旧の努力を傾注したいと念じてやみません。

(講道館発行月刊誌「柔道」1979年2月号より転記)

千葉国体 県代表選手団

【成年男子】

監督 北 蘭 季 康(鹿児島県警)
大将 堂 前 賢 吾(鹿児島県警)
副将 中 原 史 貴(鹿児島県警)
中堅 中 野 義 久(鹿児島県警)
次鋒 鮫 島 将 太 郎(加治木工高教)
先鋒 坪 田 啓 介(鹿屋体育大)

【少年男子】

監督 黒 木 徳 男(鹿情報高教)
大将 秋 山 湧 希(鹿情報高)
副将 山 平 隆 太(甲 陵 高)
中堅 矢 櫃 晃 生(鹿情報高)
次鋒 茅 野 圭 祐(鹿 商 高)
先鋒 鞘 脇 健 太(れいめい高)

千葉国体柔道競技は, 10月1日~3日です。

郷土選手の激励壮行会を県体柔道会場で行ないました。活躍を期待します。

主な行事予定(10月~1月)

10月 6日(水) 鹿児島市高等学校新人大会
23日(土) 県選抜中学生強化練習
24日(日) 妙円寺詣り柔道大会
27日(水) ~28日(木) 県下高等学校新人大会
11月 6日(土) 県選抜中学生強化練習
14日(日) 第37回県下少年大会
12月 18日(土) 県選抜中学生強化練習
23日(木) 県スポーツ少年団競技別交歓大会
26日(土) ~27日(月) 中学生寒稽古
25日(土) 県柔道会稽古納め・忘年会
1月 8日(土) 県柔道会稽古始め
15日(土) 県選抜中学生強化練習
15日(土) ~16日(日) 第51回県下高等学校選手権大会
29日(土) 第21回鹿児島県柔道選手権大会
第13回 女子柔道選手権大会

10年後は鹿児島国体

平成32(2020)年に2順目の鹿児島国体が予定されています。太陽国体の夢と栄光を再び勝ち取るために, 10ヵ年計画で強化に取り組む必要があります。各支部でも小学生選手の発掘, 育成等に組織を挙げて取り組んでいただけたらと思います。

現在の小学校2年生が高校3年生のときに少年男の主力選手になる予定です。

《 編 集 後 記 》

史上最高の猛暑が去り朝夕いくらか凌ぎやすくなってまいりました。16号を発刊してから早くも4か月が過ぎました。今回は試合の結果報告が多く記事としましては時期遅れで間延びした形になってはいますが, あくまでも栄光の記録として掲載しました。

古い月刊誌「柔道」を見ていましたら, 故林岩三九段の記事が出てきました。賀詞として講道館に寄せられたものです。30年も前の記事です。オールドファンには大変懐かしく応えられないもので第1回の嘉納杯の様子もよく分かります。(木原紀幸)